

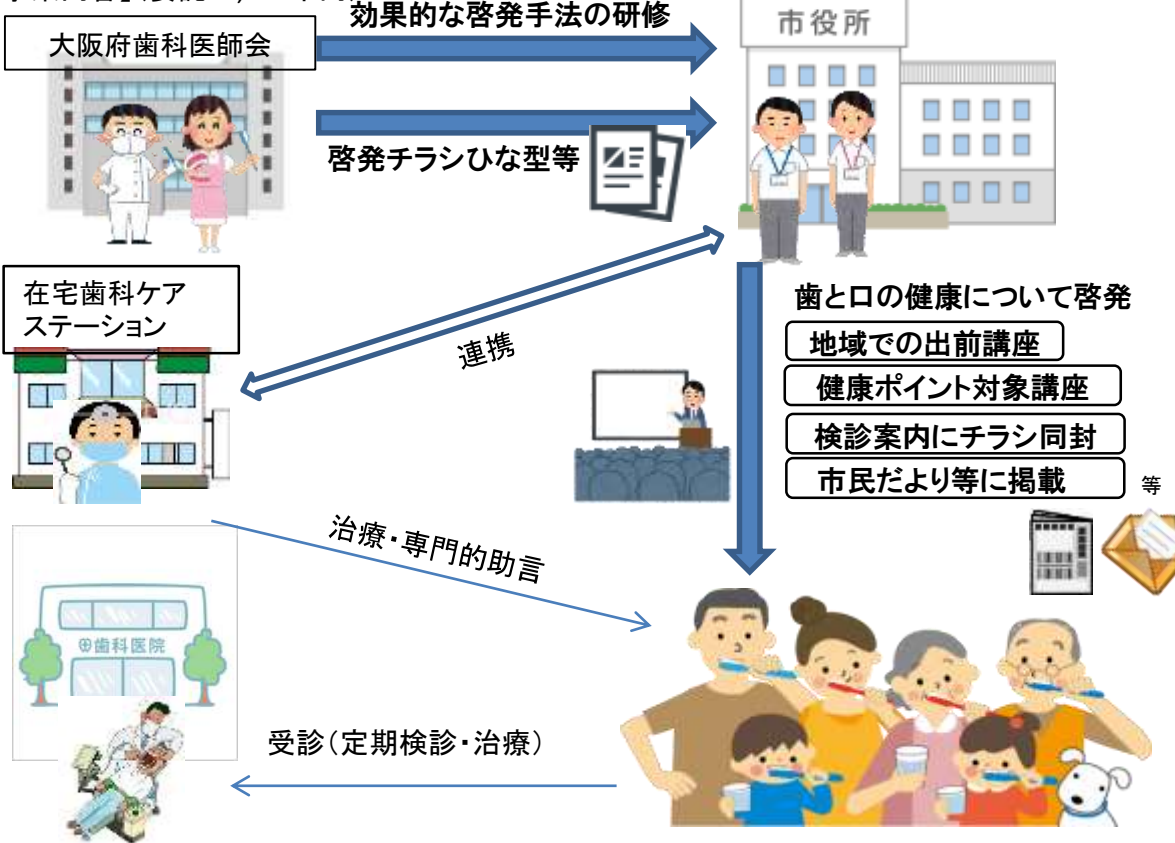
市町村職員の歯科コーチングスキル向上事業 (2019年度～2021年度) (8020運動推進特別事業・国庫10/10補助)

【現状・課題】

- 府内30市町村には歯科専門職員（歯科医師・歯科衛生士）が不在
- 歯科にかかる市民啓発は保健師等が行っているが、専門知識がなく歯科をトピックに上げるにはハードルが高い
- 府民の歯科に対する意識低く、啓発が非常に重要
 - むし歯治療が必要な者 40歳：36.9%（全国35.1%）
 - 歯周治療が必要な者 40歳：44.2%（全国42.6%）
- ライフステージに合わせた支援・啓発を効率的に進める必要がある

府民へ直接健康指導を行っている市町村職員(保健師等)の歯科にかかる専門性を高め、市町村の既存事業と連携し、歯科にかかる府民啓発を活性化させる必要がある

【事業内容】(委託：2,000千円)



市町村職員のスキル向上！ 市町村の歯科保健に関する 取組活性化！

【目標】
常勤歯科専門職のいない30市町村において
歯科コーチングスキルを有する市町村職員養成

研修会開催数	2019年	4回(座学)	120人
	2020年	12回(実技)	
	2021年	12回(実技)	

府民のセルフケア能力向上！ 歯と口の健康の保持・増進！

【目標】

- ・乳幼児期
むし歯のない者の割合の増加(3歳)
直近値：83.7% → 目標値：84%以上
- ・成人期、高齢期
歯周治療が必要な者の割合の減少
(40歳)直近値：51.2% → 目標値：36%以下
(60歳)直近値：60.3% → 目標値：50%以下

8020達成者の割合の増加
直近値：39.6% → 目標値：43.5%以上